

0 4 産業観光課所管事務



## 平成23年度成果報告 産業観光課総括

### 1. 商工観光関係

- ・元気づくり支援金により、「なぎそねこ」ブランド力向上事業と小学生木材産業体験事業（木の机、ベンチづくり）を実施した。
- ・3月に発生した東日本大震災により町内観光事業は大きな打撃を受けたが、秋頃から回復の兆しが見え始め、徐々にではあるが回復基調へ向かった。
- ・森林管理署の治山工事により平成20年度から入山禁止となっていた田立の滝が、工事の完了に伴い、4月1日から入山可能となった。
- ・観光協会が中心となり、各種イベントに参加した。県観光キャンペーン（未知を歩こう。信州2011）が9月16日から12月31日まで実施され、同時期に運行となったJR東海秋の特別観光列車「宿場町トレイン」「木曾路クルーズ号」に対して観光PR、物産販売等を行った。
- ・緊急雇用創出基金事業により、全町的に景観支障木の伐採を行った。

### 2. 地域交流関係

- ・「日本で最も美しい村」連合については、総会、戦略会議等の集まりに積極的に参加した。また、県内加盟町村（7町村）の連携による長野県会議の独自の取組みである物産イベントや県内加盟町村を巡るスタンプラリーを実施した。

### 3. 農政・農村整備・林務関係

- ・「農業者戸別所得補償制度」が本格実施された。
- ・南部ライスセンターの乾燥機及び色彩選別機の導入補助を行った。
- ・長野県茶の共進会において南木曾町の出品品が6年連続県知事賞を受賞した。
- ・茶と米の放射性物質検査を実施した。
- ・軽トラ市場なぎそグリーンマーケットを年間9回開催した。
- ・畜産農家の飼養労力の軽減と併せて遊休農地の解消及び採草地の有効利用促進を目的に「スーパー放牧」を実施した。
- ・地籍調査事業成果品の情報の電子化を実施した。
- ・南木曾町森林整備計画が改訂された。
- ・有害鳥獣の出没については、昨年と比較して1/4以下に激減した。

### 4. 特別会計

#### 妻籠宿有料駐車場特別会計

「妻籠を愛する会」を指定管理者として指定し、運営を行っている。

駐車場使用料は前年度より1,959千円の減額となり、駐車場財政調整基金を1,300千円取り崩した。さらに不足額となった妻籠宿保存事業費分について、6,700千円を一般会計から繰り入れた。

## 4. 産業観光課所管

### 1. 商工

#### (1) 商工振興

##### ○雇用対策について

- ・中津川市雇用対策事業との連携  
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校）  
ひがしみの就職面接会への参加（木曾あすなろ荘）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報窓口の設置
- ・緊急雇用創出基金事業への対応（7事業 新規雇用失業者55人）

##### ○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金・特別経営安定対策）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施。景気低迷の影響が一段落し、融資額は平成22年度対比で約56%の減となった。

##### ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金	総額	21,500千円		
	八十二銀行	13,000千円	岐阜信用金庫	6,500千円
	木曾農協	2,000千円		

##### ・融資の状況

町制度資金	3件	12,000千円
県制度資金	5件	31,230千円
計	8件	43,230千円

##### ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金	3件	298千円
県制度資金	5件	459千円
商工貯蓄共済	7件	215千円
計	15件	972千円

##### ○小規模事業指導

小規模事業指導費として南木曾商工会に4,500千円を交付。経営指導、融資斡旋などを実施。

##### ○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に29千円を交付。
- ・第26回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町美工展と同時開催）

##### ○地域ブランド推進事業

- ・「なぎそねこ」ブランド力向上事業（元気づくり支援金）

○伝統工芸品の振興

町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行うとともに、各種イベント・物産展への参加とPR及び販路拡大を図った。

- ・「南木曽ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 450千円
- ・「蘭絵笠」（県指定伝統的工芸品） 350千円
- ・「田立和紙」 200千円

○南木曽町商品券の発行に協力（発行主体：商品券加盟店会）

- ・南木曽町商品券（通常分）の売上 4,926,500円（9,853枚）
- ・町内イベントにあわせ、プレミアム商品券を発行
- ・町共通商品券地域消費拡大事業補助金 100千円を交付

\*プレミアム付商品券の発行（発行主体：南木曽商工会）

町内における経済活動の活性化と町内事業者の経営支援を目的にプレミアム付商品券発行事業を実施

- ・プレミアム付商品券 総額24,000千円（プレミアム分：4,000千円）
- ・事業経費の負担  
プレミアム分 町 3,600千円  
商工会 400千円  
事務経費 商工会で負担

○南木曽地域産業労働安全大会の開催

町、木曽森林管理署南木曽支署、商工会共催

- ・7月29日 90名参加 南木曽会館ホール
- ・安全講話「災害防止への取組みについて」（松本労働基準監督署）
- ・健康体操

○木曽勤労者共済会

- ・会 員 数 242名（平成24年3月末現在）
- ・加入事業所数 59企業
- ・共済給付事業 祝 金 12件 107,000円  
見舞金 6件 105,000円  
弔慰金 8件 80,000円
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 2件  
町村預託金 2,000,000円 長野県労働金庫木曽福島支店
- ・人間ドック利用補助 31件 130,603円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 992,991円

○元気づくり支援金による事業

- ・木材産業体験事業（元気づくり支援金）で、南木曽小学校3年生が間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行い、テーブル3台、ベンチ6台を町内観光地等へ配置した。  
事業費 276千円（内県補助 275千円）

## (2) 消費生活

### ○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数30件（内 クーリングオフ手続き指導：1件、警察へ通報・相談：5件、放送による周知：17件、相談受付のみ：13件）
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施
- ・リサイクル運動 廃油の回収と廃油利用（回収実績193ℓ）
- ・牛乳パックの回収（町内各地区の店先に回収箱を設置）回収実績1,950kg

### ○地方消費者行政活性化事業

- ・消費相談窓口の事務用備品（事務机、書庫）を購入  
事業費 101千円（内補助金 100千円）

## (3) 運輸関係

### 中央西線輸送強化期成同盟会部会

- ・木曾地域交通網対策協議会内で、JRへ要望活動を実施  
「長野県JR連絡調整会議」 12月20日 県庁で開催

## (4) 地元特産品の宣伝開発等

### ○工芸街道祭り（実行委員会主催）

11月5日～6日（町補助金：300千円）

### ○第11回ふるさとCM大賞

南木曾商工会なんでも企画「ねこのまち南木曾」の1作品を応募。一次審査を通過できなかった。

### ○元気づくり支援金による事業

- ・「なぎそねこ」ブランド力向上事業

防寒着「ねこ」を南木曾町の特産品として定着させるため、「なぎそねこ」ブランドとして統一デザインのタグとリーフレットを作成。また、なぎそねこキャラクター「ぼかにゃん」のぬいぐるみを製作した。

事業費 1,662千円（内県費 1,656千円）

## 2. 観光

### (1) 観光行事、イベント関係

#### ○第10回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催）

4月8日～17日（町補助金：300千円）

来客数 5,273人 バス・マイクロバス 73台 乗用車709台 二輪車5台

出店者売上（16店） 3,676千円

#### ○田立の滝開き（町合同植樹祭）

森林管理署の治山工事により入山禁止となっていた田立の滝が4月1日から入山可能に

#### ○第31回南木曾町妻籠健康マラソン大会（実行委員会主催） 6月5日

妻籠宿、駐車場での各種サービスの実施（優待券の発行）

- 南木曾山麓山開き、南木曾岳登山安全祈願祭 6月11日
- 桃介夏祭り 8月15日
- 妻籠宿火まつり 8月27日
- 与川古典庵の観月会 9月12日
- 田立の花馬祭り 10月 2日
- 工芸街道祭り 11月 5日～6日
- 文化文政風俗絵巻之行列 11月23日
- JRさわやかウォーキング
  - 4月17日「山峡の春とミツバツツジの花景色」 1, 119人
  - 10月 2日「秋のうるう滝と花馬の里を訪ねて」 934人
- 県観光キャンペーン「未知を歩こう。信州2011」
  - 平成23年9月16日～12月31日
- JR東海 秋の特別観光列車の運行
  - 宿場町トレイン117 9月3日～11月13日(土休日26回運行) 1,300人利用
  - 木曾路クルーズ号 10月23日～11月13日(土日6回運行) 1,600人利用
- その他の観光展・イベント等への参加
  - ・いちのみやりバーサイドフェスティバル(5月3～5日) 一宮市
  - ・日本で最も美しい村連合長野県会議物産展(7月8日～10日) 名古屋市中日ビル
  - ・長野県夏の観光PRイベント(7月26日) JR東京駅
  - ・桧笠組合キャラバン(8月5日) 下伊那
  - ・全国街道交流会議中山道展(10月8日) 東京都日本橋
  - ・日本で最も美しい村連合長野県会議物産展(12月1日～2日) 東京都虎ノ門
  - ・スローフードフェスタ IN なぎそ(1月28日) 南木曾会館
  - ・木曾路氷雪の灯祭り(2月11日) 妻籠宿

## (2) 広告宣伝関係

- パンフレット類の作成(一部観光協会とタイアップ)
  - ・ぶらり南木曾 20,000部 819,000円
  - ・ガイドマップ南木曾 25,000部 483,000円
  - ・桃介橋リーフレット 10,000部 101,850円
  - ・田立の滝リーフレット 20,000部 149,100円
  - ・柿其溪谷リーフレット 20,000部 149,100円
  - ・みなみ木曾路周遊録 8,000部 523,320円
- メディア関係広告掲載
  - ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載(年間随時)
  - ・各種取材への対応
  - ・TV放送取材の対応

- 観光協会ホームページ  
管理、運営

### (3) 観光施設

- 歩道等の整備（草刈、小修理など）
  - ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、川西古道、与川歴史の道、SL公園ほか
  - ・天白公園ツツジ園（中学生、シルバー人材センターによるボランティア作業も実施）
- 観光案内板等の小修理、維持管理
  - ・田立の滝、川西古道、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿他
- 観光地整備・修繕
  - ・南木曾駅前ロータリー舗装、桃介記念館改修、田立の滝登山道整備・トイレ設置など
- ふるさと雇用再生特別基金事業による事業
  - ・観光地活性化のための整備事業
    - 妻籠下り谷一石桁にある立場茶屋を観光客の休憩所、観光案内所として通年開放。
    - 事業費 4,295千円（内県補助金 4,294千円）
- 福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合
  - （開設期間）平成23年4月 1日から平成24年11月30日まで
  - 平成24年3月25日から平成24年 3月31日まで
  - 指定管理料：1,600,000円（河川公園と併せて）

（利用状況）

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	閉館時	3月	合計	H22実績
965	389	392	222	467	341	690	635	280	98	4,479	3,604

※12月1日～3月24日冬季閉館

（希望に応じて入館受入）

- 観光地整備事業補助金の交付
  - ・観光団体 南木曾山麓蘭キャンプ場
  - ・事業名 南木曾山麓蘭キャンプ場支障木伐採工事（松40本伐採）
  - ・事業費 815,000円
  - ・補助金交付額 500,000円

### (4) 観光協会等

- 南木曾町観光協会（町補助金：1,130千円）
  - ・6月28日総会開催
  - ・観光案内、宣伝、イベントへの参加協力、取材協力と案内
  - ・広告掲載
  - ・インバウンド事業への取り組み
    - 海外の旅行社、マスコミ関係者の対応・案内



- ・ 県、木曾観光連盟の誘致活動への協力
- ・ 各支部加盟団体との連携協力による活動
- ・ 施設の管理、運営

○南木曾駅観光案内所 おんたけ交通（株）へ業務委託（委託料：630千円）

（開設期間）平成23年3月15日から平成24年3月14日まで

（利用状況）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ 件数	253	243	168	183	316	266	264	274	110	72	61	268	2,478
訪問 人数	463	457	275	336	567	456	486	479	184	131	103	149	4,086

（業務内容）観光客案内と案内業務に伴う庶務  
駅前公園の清掃、ごみ収集

○加盟団体

- ・ 木曾観光連盟、長野県観光連盟、日本観光協会、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス観光開発協議会、新宿駅信州観光案内所、日本さくらの会、国有林観光施設協議会、日本の滝全国協議会、木曾地区温泉協会、自然公園協会、信州まつもと空港利用促進協議会、伝統工芸の森協議会、全国街道交流会議

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高 原温泉郷	合 計
H23	5,197	156	99	152	483	170	6,259
H22	5,301	147	8	169	534	230	6,389

### 3. 地域交流

○長久手市との交流（平成24年1月1日市制施行）

- ・ 通年 観光施設で交流町村優待サービス事業（長久手側3施設、南木曾側23施設）  
長久手市農産物直売所（JA木曾が年間を通して出荷）
- ・ 7月16日～17日 長久手町リニモ de 夏祭り 町内業者出店
- ・ 8月27日 長久手町平成こども塾受け入れ（マスつかみ）
- ・ 11月13日 長久手町民祭り 町内業者出店
- ・ 3月10日 長久手市平成こども塾受け入れ（南木曾の食体験）

○「日本で最も美しい村」連合

- ・ 4月27日～28日 連合担当者会議 東京都

・ 5月18日	連合長野県会議	中川村
・ 5月26日～27日	連合総会・戦略会議	群馬県中之条町
・ 7月8日～10日	連合長野県会議「名古屋イベント」	名古屋市
・ 8月9日	連合長野県会議	高山村
・ 9月28日	連合長野県会議東京イベント打合せ	東京都
・ 10月7日～10日	連合フェスティバル	北海道赤井川村
・ 10月31日	連合長野県会議	伊那市
・ 12月1日～2日	連合長野県会議東京イベント	東京都

○上下流交流

・ 4月21日	第1回上下流交流実行委員会	木曾町
・ 5月3日～5日	いちのみやリバーサイドフェスティバル	一宮市
・ 5月14日	平成名古屋市民の森づくり in 木曾	木曾町
・ 11月9日	第2回上下流交流実行委員会	木曾町
・ 12月4日	上下流インターネットフォーラム	大桑村
・ 1月19日	第3回上下流交流実行委員会	木曾町

4. 景観保全

○景観支障木伐採事業

- ・ 緊急雇用創出事業（県基金事業）により、美しい景観整備事業として町内の景観支障木の伐採を行った。

支障木の伐採 町内11箇所（材積：180m<sup>3</sup>）

南木曾岳登山道の整備 2ha（L=10km）

事業費：9,912千円（県補助金：9,912千円）

平成23年度 商工観光関係 工事関係

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成22年度きめ細かな交付金 福沢桃介記念館改修工事	耐震補強 建具等補修	5,250	4,430				820	
平成22年度きめ細かな交付金 南木曾駅前舗装工事	舗装工 A=659㎡	3,150	3,150					
平成22年度きめ細かな交付金 田立の滝登山道整備工事	木道補修 L=112.6m	2,520	2,520					
田立の滝公衆トイレ設置工事	公衆トイレ2基	2,058		2,000				
緊急雇用創出事業 美しい景観整備事業 景観支障木等伐採業務	南木曾岳登山道整備 支障木伐採	9,912		9,912				

## 5. 農政関係

### (1) 農業委員会事務局関係

#### ① 農業委員会委員の改選

・ 農業委員会委員一般選挙で10名、議会推薦で2名、木曾農業協同組合推薦1名の計13名が選任された。選任された皆さんは下記のとおり

選任方法	氏 名
選 挙	P 3 6 参照
議会推薦	岡田 豊子 小幡 京子
農協推薦	早川 親利

#### ② 委員会協議・処理対応事項

- ・ 定例委員会 12回（毎月）
- ・ 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議と農地流動化対策について検討
- ・ 米政策改革の取り組みについての検討と転作の現地確認
- ・ 農業振興地域整備計画変更の審議
- ・ 地域営農システムの推進と認定農業者への支援
- ・ 農地無断転用防止のパトロール活動
- ・ 農作業安全運動推進PR
- ・ 農作業標準料金、標準小作料の審議
- ・ 農家台帳の整備
- ・ 農業委員会委員選挙人名簿の審査
- ・ 町内各生産部会等への参画と町内農事懇談会への参加
- ・ 全国農業新聞普及・拡大の取り組み
- ・ 長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加
- ・ 夢語り新春茶会の開催

#### ② 平成23年度農地関係取扱件数

（面積は小数点以下第1位で四捨五入）

内 容	件数	面積 (㎡)
農地法第3条による所有権移転 （売買等による農地の所有権移転）	3	152
農地法第4条による農地転用 （所有権者本人による農地以外への転用）	1	9
農地法第5条による農地転用 （所有権移転または貸借等の権利設定をともなう、農地以外への転用）	5	822
公共事業による農地転用	1	10
現況証明	2	287

参考：平成23年度における農地以外への地目変更面積 1, 128㎡

### (2) 農業振興関係

#### ① 米政策改革関係

農業者戸別所得補償制度は、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象として、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るとともに食料自

給率の向上と農業の多面的機能の維持を目指すことを目的に平成22年度にモデル対策事業として開始され、平成23年度からは畑作物まで対象作物を拡大して本格実施された。町では南木曾町水田農業推進協議会を中心に水田作付及び有利な転作の推進を図った。また、農業委員と集落協定関係者で現地確認を実施した。

・事業の内容

南木曾町への米の生産配分数量は593tで基準単収564kgのため面積に換算すると、水稲作付け可能面積105.1haに対し作付面積の実績は96.9haで目標を達成した。

町内に交付された戸別所得補償交付金は総額12,633千円で内訳は下記のとおり。(昨年度12,311千円)

○米の所得補償交付金

作物名	単価 (10a 当り)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
主食用水稲	15,000	5,383	8,074,500

○畑作物の所得補償交付金

作物名	単価 (45 kg 当り)	重量 (kg)	交付金額 (円)
そば	12,150	375	101,250

○水田活用の所得補償交付金

(1) 戦略作物助成

作物名	単価 (10a 当り)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
大豆	20,000	28	56,000
飼料作物	35,000	949	3,321,500
発酵用稲 (WCS)	80,000	94	752,000
そば	20,000	53	106,000
合計			4,235,500

(2) 産地資金交付金

	単価 (10a 当り)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
産地資金	576	211.33	121,830

※対象作物要件：助成対象水田で品質向上、生産性向上の取り組みがなされていること

対象作物	単価 (10㌥当り)
そば	1,600
飼料作物	4,000
はくさい・スイートコーン・赤かぶ	21,600
インゲン・トマト・えごま・トコナギ・OHユリ	16,500

(3) 耕畜連携交付金

	単価 (10a 当り)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
水田放牧	13,000	77	100,100

②地域農業対策

町では地域営農体制の整備、農地の有効活用をとおり、持続的な農業生産を可能とするような農業構造を構築するため各種の取り組みを実施した。

\* 農業経営基盤強化資金利子補給事業 13,158円

スーパーL 資金対象者 1名

\* 農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

平成23年度利用実績 0件 貸付現在高 (平成22年度末) 0件 0円

\* 農振農用地一般管理事業

編入面積 0㎡ 除外面積 0㎡ 用途変更 なし

\* 農地流動化対策

年度別流動化面積（農業経営基盤強化促進法に基づくもの）

年	設定面積	年度末設定面積合計
平成20年	4.46 ha	20.7 ha
平成21年	3.10 ha	19.2 ha
平成22年	6.30 ha	20.2 ha
平成23年	6.88 ha	20.1 ha

（設定面積は該当年度における利用権の新規設定および更新の合計）

③中山間地域農業直接支払制度

国では平成12年度から集落における5年間の各種取り組みを条件に本制度を創設。これを受け町では当初から同制度の取り組みを開始している。平成22年度から第3期対策事業として継続実施（5年間の対策）されている。なお、交付金の配分については各集落ごとの取り決めにより個人配分が0%～40%、共同取組分が100%～60%の割合で配分され各集落で活用されている。平成23年度の各集落への交付金支払状況と、平成22年度交付金の集落における主な共同取組分の使用状況は次のとおり。

平成23年度交付金			平成22年度交付金の主な使用状況				
集落名	参加農地面積(m <sup>2</sup> )	支払交付金(円)	農道・水路管理費(円)	鳥獣被害防止対策費(円)	共同利用機械購入等費(円)	共同利用施設整備等費(円)	その他(円)
与川1区	88,909	1,736,574	1,005,584	70,600	269,800	22,360	68,310
与川3区	85,810	1,723,977	568,769				66,283
与川4区	69,697	1,236,697	121,660		790,735		129,180
与川5区	34,861	720,058	590,933				40,000
十二兼	47,275	876,120	426,029		43,200		
本谷	81,034	1,701,714	112,720				500
岩倉	85,009	1,785,189	1,014,839				
椰野	20,409	428,589					300,012
川向	17,876	375,396	21,120				
上の原	151,477	3,049,092	1,883,446	95,450			132,640
神戸	43,265	908,565	288,600				56,700
渡島	14,582	271,607	127,050	39,534	110,000		
妻籠町上	46,985	965,685	20,000	68,787			157,900
橋場	50,374	1,056,314					633,788
大妻籠下り谷	59,748	1,222,700	256,000	500,000			100,000
上在郷	49,019	1,029,399	84,000	533,048			
尾越	20,596	432,516					302,761
上段	54,935	1,153,635	327,500			467,250	
蘭	17,412	365,652	30,000				40,000
神橋(個別)	13,274	278,754					
元組	92,238	1,936,998	175,357	185,000			
向栗畑	105,159	2,168,316	1,633,701	124,780			22,088
栗畑	118,862	2,227,959	1,750	120,740			
下切	91,007	1,689,886	100,000				130,651
大野	63,974	1,343,454	100,000				704,759
正兼	80,384	1,688,064	430,000	26,000			
塚野	130,984	2,750,664	807,883				1,045,835
計	1,735,155	35,120,574	10,126,941	1,763,939	1,213,735	489,610	3,931,407

④水田農業共同利用施設整備事業

- ・事業主体 木曾農協 南部ライスセンター 乾燥機3台、色彩選別機1台購入
- ・補助額3,500千円 (総事業費10,660千円) 補助率50% (南木曾・大桑)

⑤園芸特産振興事業

・お茶関係

田立製茶工場は5月15日から6月6日まで23日間の操業で26.2トンの加工量となった。(前年比10%減) 8月に開催された長野県茶の共進会において南木曾町からの出展品が6年連続県知事賞を受賞し、ふれあい福祉まつり開催日に合わせて褒章授与式が行われた。茶業振興会では茶園の品質向上を目的としてJA・農業改良普及センター等と連携して台切り講習会を3月に開催した。希望した5名の農家が台切り更新を実施した。

・野菜関係

地産地消の意識の高まりから、農協を通じたり、農家の自主的運営で野菜直売が行われている。このうち農協を通じた直売は、田立地区を中心とした農家で取り組まれている。

売上額は、平成19年度 813万円、20年度 873万円、21年度 773万円、22年度 753万円、23年度 688万円となっている。(登録農家数24軒)

これらの農家から学校給食等の食材出荷も以前から行われており、さらに観光関係者との連携による消費拡大に取り組むために生産・販売・消費・観光関係者で「地産地消推進会議」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会を設置した。「軽トラ市場」は天白公園を主会場に7月から12月まで9回開催した。また、学校給食食材供給者に運搬費補助を実施した。

栽培技術・知識向上を目的として関係者を対象に農作物栽培講習会を3月21日に開催した。

(軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況)

開催日	売上合計(円)	出店者数	
7月23日	62,980	10	天白公園
8月6日	102,400	11	天白公園
8月15日	93,240	8	天白公園
9月10日	48,600	8	天白公園
9月24日	47,900	5	天白公園
10月23日	154,100	11	社会体育館(ふれあい福祉まつり)
11月12日	48,600	5	天白公園
11月26日	60,400	6	天白公園
12月10日	82,650	9	天白公園
合計	700,870	73	

(学校給食食材提供運搬補助実績)

単位：回、円

月	小学校	主な野菜等の種類	補助額	中学校	主な野菜等の種類	補助額
4月	0		0	2	福神漬け・筍	450
5月	3	筍・レタ	1,335	2	筍	0
6月	3	玉ねぎ・胡瓜・ジャガイモ	1,050	22	玉葱・キャベツ・レタ・煎茶・ジャガイモ・胡瓜	4,495
7月	16	玉ねぎ・胡瓜・ジャガイモ・ナス・トマト	2,325	30	玉葱・胡瓜・トマト・南瓜・夕顔・インゲン・ジャガイモ	4,665
8月	12	玉葱・胡瓜・ピーマン・葱・ナス・南瓜	2,050	18	玉葱・胡瓜・ナス・南瓜・トマト・ジャガイモ	1,065
9月	17	玉葱・胡瓜・ナス・南瓜	4,650	12	長葱・里芋	2,350
10月	6	長葱・里芋・トマト・ジャガイモ	1,600	16	長葱・里芋・トマト・ジャガイモ	3,880
11月	5	長葱・里芋・サマ任	1,500	25	長葱・里芋・サマ任・味噌	4,690
12月	6	玉葱・サマ任・ジャガイモ	1,500	23	長葱・里芋・サマ任・味噌	4,295
1月	0			13	人参・大根・五平もち・長葱・玉葱・白菜	3,735
2月	2	人参・漬物・里芋	450	11	人参	4,785
3月	0			0		
合計	70		16,460	174		34,410

補助金額：1km当り25円(小学校中学校に同日同じ納入者が運搬した場合運搬距離遠い方で清算)

・水産関係

魚病調査・鳥獣による被害調査等の各種調査報告を実施した。

対象戸数 5戸

・みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。

対象戸数 7戸

⑥畜産振興事業

・家畜飼育状況（2月末現在）

（単位：頭）

年度	乳牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖雌牛数
20	1	30	18	118
21	1	30	17	107
22	1	35	16	97
23	1	34	12	87

・家畜市場状況の推移（南木曾町）

（単位：平均金額・売上合計＝千円）

年度	雌		去勢		計		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
20	39	348	50	422	89	395	35,168
21	51	334	43	390	94	360	33,835
22	54	368	39	410	93	387	36,127
23	42	359	39	403	81	382	31,230

南木曾町内では高齢化の進行等の理由により飼育農家および飼育頭数が減少傾向にある。平成22年3月に南木曾、大桑の各和牛部会を統合して南部和牛部会が設立された。

家畜市場の市況は、昨年3月の大震災の影響等で依然として厳しい状況が続いているが、12月と2月の市場では全体の平均価格が前回は上回るなど子牛価格が上げ基調で推移して多少の回復傾向を示している。

・家畜診療関係

平成16年度からNOSA I 中信診療所へ委託。診療件数 88件 (H22 109件)

負担金 1,051,000円

(内訳) 組合家畜診療所運営負担金 470,000円  
木曾地域特別負担金 581,000円

・町単肉用牛導入事業

\*町有牛導入事業費

0円

年度末保有町有牛

10頭 (1代目8頭 2代目2頭)

評価額 4,700,305円

・農事組合法人長者畑草地利用組合関係

長者畑草地は飯伊木曾畜産基地建設事業で平成2年に着手し平成5年に完成。同年から利用組合へ管理委託している。耕地については草地林地一体的利用総合整備事業で平成13～14年度にかけて更新し、機械については平成21年度にロールベアラ1台の更新を行った。ロールサイズの変更に伴い平成23年度は159ロールを生産した。昨年度、製品の一部分が破られるなど鳥獣被害の発生がみられたため、製品完成後、早めの運搬・移動を試みた。他の機械類も経年による老朽化が進んでいることや、鳥獣被害対策、組合員の高齢化問題など課題が多いため今後の草地利用方法について検討する必要がある。

\*長者畑草地利用組合への助成金(国有林賃借料、車検代、施設・車両修繕)

531,939円



・大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員5戸）に、草地利用・管理を委託するとともに、ローラップサイレージの調製を推進した。10月に道路周辺の草刈を全員で実施し3月に雑木の一部伐採を外部委託で実施した。現在、草地の一部は右岸道路建設に係る残土処理場として埋め立てが実施されている。大原採草地は町の施策で平成9年に取得し管理組合に管理委託しているが、管理の継続には長者畑草地と同じことが懸念される。

・スーパー放牧関係

飼料自給率の向上と労力軽減を図ることを目的とした「スーパー放牧」（小規模ブロック移動放牧＝県単独事業）を実施した。

- ・事業主体：長野県 事業費：405千円（電気牧柵資材費）
- ・放牧期間 7月27日から約4か月（125日）
- ・放牧総面積 137.54ha
- ・放牧場所 妻籠2箇所 与川3箇所
- ・スーパー放牧とは別で、吾妻向ヶ原地区遊休農地で乳牛3頭の放牧を実施した。（7月～10月）
- ・放牧が可能な遊休荒地・耕作放棄地で実施することで、労力軽減のほかに遊休農地解消や景観向上効果も期待される。今後事業拡大のためには実施集落への周知や放牧牛の衛生検査の実施、管理・監視体制の分担など関係者間で十分な事前準備が重要である。

⑦農業技術、生活改善等の普及指導、試験研究

農業関係の普及事業等について農業改良普及センター、農協との連携及び農技連活動により推進した。

- ・稲作現地指導会 6月（26か所）
- ・農技連総会 7月
- ・施肥防除基準説明会 12月
- ・夢語り新春茶会 1月（30名）
- ・冬期農事懇談会 3月（3月5日～3月14日 6日間 23会場 参加210名）
- ・むらおこし活動に対する支援  
岩倉むらおこし組合・上の原むらおこし組合
- ・生活改善グループ協議会支援
- ・野菜等直売所支援
- ・農作物災害対策（凍霜害ほか）
- ・病虫害駆除対策
- ・農業委員会活動支援
- ・農作物放射能検査（県）

5月16日お茶生葉（田立地区）、9月9日米（田立地区）を採取、国の指定検査機関へ検体を送り検査実施。検査結果はいずれの検体からも放射性ヨウ素及び放射性セシウムは不検出。

⑧農業共済組合との連絡調整

組合と農家との円滑な連絡調整を図った。

(別表)

平成23年度 農政関係主要事業

(1) 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
農業委員会運営費			2,881		1,053			1,828	リト事業
農地制度実施円滑化事業			2,205		2,200			5	農地台帳整備
合計			5,086		3,253			1,833	

(2) 農業振興関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
農業経営基盤強化資金利子補給事業			13		7			6	リト事業
中山間地域農業直接支払制度			35,120		26,340			8,780	
NOSA I 中信家畜診療所負担金			1,150					1,150	
長者畑草地利用組合関係事業			532					532	
水田農業共同利用施設整備事業			3,500					3,500	フェイスター

## 6. 農村整備関係

土地改良事業の核となるほ場整備事業は、各種補助事業により昭和61年度から計画的に整備を進め、平成15年度末で完了している。現在は土地改良施設維持管理適正化事業等で水路の改良を行っている。

これまで整備されてきた農地・農業用水等の地域資源は食料の安定供給の基盤であり、自然環境や生態系の保全、豊かな景観形成などの多面的機能を発揮している。しかし、近年は過疎化、高齢化等により、農地・農業用水路等の適正な保安全管理が困難となっている。それだけに、地域住民・町が一体となって保全活動に参加し、農地・農業用水路等の多面的機能への理解を深め、継続した活動につなげていきたい。

また、国土調査事業は昭和52年度から実施し、平坦部を完了した。平成18年度から田立山林部の測量に着手し、23年度も塚野山林を引き続き測量した。

### (1) 土地改良事業（元気づくり支援金事業）

土地改良施設原材料支給

#### ○農道整備原材料支給

各区で実施する農道の生コン舗装等の原材料支給を行った。

#### ○水路改良原材料支給

各水利組合等で実施する水路整備のための原材料支給を行った。

### (2) 土地改良施設維持管理適正化事業

本事業は、総事業費の30%を長野県土地改良事業団体連合会へ5年間で拠出し、事業実施年度に事業費の90%について同連合会から助成を受け水路整備を行うもので、平成23年度は、岩倉地区の「籠包水路」の改良工事を行った。

なお、神戸地区の神戸沢水路を平成27年度で実施できるように採択申請を行った。

### (3) 農地農業用施設災害復旧事業

平成23年度は5・7・8月及び9月台風15号豪雨により、農地7箇所が被災し、国庫補助で4箇所、町単で3箇所の災害復旧事業を行った。

### (4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された水路を対象に県営で農業用排水路を整備するもので、測量試験費と長土連特別賦課金で行える事業。

平成23年度は、下切地区田立駅前水路流末を対象に事業が実施された。

(5) 国土調査事業

平成23年度の国土調査事業の実績は次のとおりである。

事業実績	調査区名	事業内容	事業費
地籍調査事業	田立の一部 16区	F-2・G・H工程 0.18km <sup>2</sup>	1,800,000円
	田立の一部 17区	C・D・E・F-1工程 0.14km <sup>2</sup>	

測量工程

1年目			2年目		
A工程	地籍調査計画・事務手続	調査区域等設定	F-2工程	一筆地測量	
B工程	地籍調査事業準備	法務局等調査	G工程	地籍測量	
C工程	地籍図根三角測量		H工程	最終取りまとめ	地籍図・地籍簿の作成
D工程	地籍図根多角測量			認証請求	県へ提出
E工程	一筆地調査			法務局登記	
F-1工程	地籍細部測量				

事業内容及び成果

大規模な地殻変動に伴う地籍調査の検証測量について

平成23年3月の東北地方太平洋沖地震の発生に伴い長野県においては、大きな地殻変動が観測されたため、登記前調査地区である田立15区・16区について座標補正及び検証測量を実施した。

検証測量の結果、座標の変動が国指標の座標補正の範囲内であったことから、再測量は行わず、座標補正を加えた数値を成果品とすることとなった。

事業費 1,480,000円（内国土調査補助金 1,110,000円）

地籍調査情報電子システム化について

いままで紙媒体にて管理していた地籍調査事業の成果品（22,820筆）の電子システム化を行った。

紙媒体であったため庁舎内の火災、浸水等の災害時に紛失してしまう恐れがあったが、電子化により複製が容易となったため、より安全な対策が可能となった。

またシステム化によりスピーディな窓口対応ができるようになった。

事業費 9,240,000円（内緊急雇用創出事業 9,240,000円）

国土調査実施地区一覧

年度	地区	面積 (km <sup>2</sup> )	総事業費(円)	年度	地区	面積 (km <sup>2</sup> )	総事業費(円)
52～53	本谷	0.49	2,190,000	7～8	渡島の一部	0.23	6,860,000
53～54	岩倉	0.62	3,216,000	8～9	田立の一部(元組)	0.16	7,650,000
54～55	金知屋～十二兼	1.63	6,876,000	9～10	田立の一部(下切)	0.28	12,310,000
55～56	与川	1.79	10,080,000	10～11	田立の一部(粟畑)	0.28	5,570,000
56～57	上の原	0.87	6,168,000	11～12	田立の一部(塚野)	0.51	8,770,000
57～58	川向	0.71	4,044,000	12～13	田立の一部(大野)	0.42	6,000,000
58～59	新町～和合	0.73	5,580,000	13～14	田立の一部(大野、下切、粟畑)	0.44	7,560,000
59～60	和合～神戸	0.71	5,832,000	14～15	田立の一部(下切、粟畑、 向粟畑、元組)	0.18	5,520,000
60～61	口広瀬～漆畑	0.74	6,155,000	15～16	田立の一部(向粟畑、元組)	0.45	7,460,000
61～62	額付川～神橋	0.61	7,864,000	16～17	田立の一部(元組)	0.25	5,110,000
62～63	大島～上段	0.63	5,332,000	17～18	田立の一部(下切)	0.10	2,530,000
1～2	上在郷	0.42	3,004,000	18～19	田立の一部(塚野山林)	1.07	4,150,000
2～3	下り谷～橋場	0.63	5,060,000	19～20	田立の一部(塚野山林)	0.90	4,380,000
3～4	富貴畑	0.70	4,660,000	20～21	田立の一部(下切山林)	0.20	1,950,000
4～5	向原	0.51	4,896,000	21～22	田立の一部(下切山林)	0.32	1,830,000
5～6	橋場～恋野の一部	0.55	11,890,000	22～	田立の一部(塚野山林)	0.18	1,470,000
6～7	恋野の一部～渡島の一部	0.52	9,620,000	23～	田立の一部(塚野山林)	0.14	1,800,000

地籍調査対象面積 69.72 km<sup>2</sup> (平坦部17.23 km<sup>2</sup> 山林部52.49 km<sup>2</sup>)

平坦部成果面積計 17.23 km<sup>2</sup> (進捗率100%)

山林部成果面積計 2.67 km<sup>2</sup> (進捗率 5%)

南木曾町ほ場整備事業一覧表

地区名	行政区	実施年度	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	備 考
塩の平	本 谷	61	1.1	13,500	県単事業
上の原	上の原	62～63	7.1	145,000	団体営小規模排水対策特別事業
大 野	大野正兼	62～ 元	4.8	94,000	団体営農村基盤総合整備事業
中の平	上の原	63～ 元	4.9	81,600	団体営水田農業確立対策事業(特別型)
大奈良	上の原	62～ 元	2.2	42,300	団体営水田農業確立対策事業(特別型)
野 瀬	上の原	62～ 元	1.1	19,000	団体営水田農業確立対策事業(特別型)
岩 倉	岩 倉	2～ 3	8.0	186,400	団体営水田農業確立小規模耐水対策特別事業
与 川	与 川	3～ 6	21.3	528,000	団体営中山間地域農村活性化総合整備事業
粟 畑	粟 畑	4～ 5	10.0	220,000	団体営農村基盤総合整備事業
塚 野	塚 野	5～ 6	11.5	230,000	団体営農村基盤総合整備事業
向粟畑	向粟畑	6～ 7	10.5	200,000	団体営農村基盤総合整備事業
上 段	上 段	6～ 7	7.4	225,000	団体営水田農業活性化基盤整備事業(特殊地域型)
本 谷	本 谷	7～ 8	7.5	174,000	団体営かんがい排水事業(排水不良型)
大野正兼 元 組	大野正兼 元 組	8～12	10.8	522,840	県営中山間総合整備事業 田立地区
下 切	下 切		8.5		
			6.8		
柳 野	戸 場	11～12	2.0	45,000	団体営棚田地域等緊急保全対策事業
大妻籠	大妻籠		3.9		
下り谷	下り谷	12～15	1.6	291,650	団体営中山間総合整備事業 妻籠地区
上在郷	上在郷		4.0		
神戸	神戸	13～14	2.5	40,000	団体営棚田地域等保全整備事業
	計		125.5	3,058,290	

[別表]

平成23年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1 土地改良事業関係  
① 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳 その他	備考
				の		地方債	一般財源		
				国庫支出金	県支出金				
農道整備事業	町内	農道原材料支給	398	145		253	元気づくり支援金		
	4箇所	小規模修繕	773			70			
小計			1,171	145		70			

② かんがい水路改良事業

土地改良施設維持管理適正化事業	岩倉	L=104m 管包水路	4,000			4,000	
県単緊急農地防災事業	町内	下切り地区 大洞水路	231			23	208
水路改良事業	町内	水路原材料支給	292	122		170	元気づくり支援金
	5箇所	小規模修繕	1,175			117	
小計			5,698	122		4,140	378

③ 災害復旧事業関係

国補災害復旧事業	4か所	農地 4箇所	6,027	5,007		562	458
町単小災害復旧事業	3か所	農地 3箇所	1,301			60	1,241
小計			7,328	5,007		622	1,699

土地改良事業合計			14,197	5,007	267	4,832	3,033
----------	--	--	--------	-------	-----	-------	-------

2. 国土調査事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳 その他	備考
				の		地方債	一般財源		
				国庫支出金	県支出金				
国土調査事業	田立塚野山林16, 17区	16区 0.18km <sup>2</sup> 17区 0.12km <sup>2</sup>	1,800	900	450		450		
	田立塚野山林15, 16区	16区 座標補正・検証測量 15区 座標補正・検証測量	1,480	740	370		370		
地籍調査情報電子システム化事業	—	町内 22,820筆 電子化及びシステム化	9,240		9,240				
国土調査事業合計			12,520	1,640	10,060		820		

## 7. 林 務

### (1) 林業振興関係

#### (ア) 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

##### ① 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

##### ② 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて2,849,952円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	23年度		22年度		21年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地 拵え	—	—	—	—	4.30	—	
新 植	—	—	—	—	2.80	—	
下 刈	1.89	—	1.89	—	—	—	
除 伐	3.41	—	0.60	—	2.40	—	
獣害防止	5.04	—	—	—	—	—	
間 伐	100.35	2,849,952	90.42	2,699,221	90.05	2,692,864	
除間伐	—	—	—	—	—	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
計	110.69	2,849,952	92.91	2,699,221	99.55	2,692,864	
作業路	374	—	—	—	1,600	—	
合計	110.69	2,849,952	92.91	2,699,221	99.55	2,692,864	

##### ③ 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに450,000円を補助した。



(イ) 植樹祭

平成23年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭を田立の滝滝開きと併せて実施した。

期 日	平成23年4月28日(木)		
場 所	式典・植樹	南木曾町田立「田立の滝粒栗駐車場付近」	
	植樹木等	苗木 200本	2種類
		ミツバツツジ(100本)	
		いろはもみじ(100本)	
参加状況	招待客	160名	当日の参加 115名
	関係者	72名	72名
	計	228名	187名

(ウ) その他

◎ みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

(例年実施している妻籠宿内での街頭募金は、東日本大震災を考慮し中止した)

募金額	270,087円	内訳	世帯募金	265,818円
			街頭募金	0円
			職場等	4,269円

◎ みどりの少年団

8月1日 木曾地区みどりの少年団交流集会

南木曾町桃介橋下河川公園

南木曾小学校4年生から希望者参加

(生徒:7名、教師:2名)

オリエンテーリング・ペンダントづくり

◎ 南木曾中学校体験学習

4月19日 椎茸植菌作業 1年生対象に実施

7月14日 天白町有林 下刈作業・カマ研ぎ 2年生対象に実施

(2) 町有林関係

(ア) 町有林造成事業

平成23年度の実施内容は以下のとおり

下刈(天白町有林)2.2ha 鳥獣害防止(下安町有林)2.8ha

境界杭設置(井戸沢町有林)1箇所

(イ) 山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には 受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員会は、3回開催した。

平成23年度は任期最後の年度となるため、研修旅行を実施した。

山林委員の町有林巡視補助として南木曾町森林組合に巡視委託をした。

(委託料：240,000円)

山林委員名簿

委員長：片山半平 副委員長：櫻井忠孝

読書	古田實信	吾妻	伊藤兼彦	田立	櫻井忠孝
	楯 勇志		片山半平		林 益雄

(3) 林道開設・改良等事業

(ア) 林道開設 実施なし

(イ) 林道改良

林道田の沢線改良工事を実施(22年度からの繰越)

(4) カモシカ対策事業

カモシカ食害対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが依然として後を絶たない。

個体調整事業について、特定鳥獣保護管理計画に基づいて捕獲計画頭数を8頭とし、8頭の捕獲実績であった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

松くい虫防除対策

枯損木の伐倒処理については、危険木を森林組合等に委託し実施した。

年々被害が北上増加傾向にある。大桑村以北への拡大等も懸念されている。

カシノナガキクイムシ対策

平成23年11月に読書沼田地区で感染が確認された。

平成23年12月から感染したコナラの伐倒焼却及び薬剤対策を実施した。

今後も感染の拡大が懸念されるため、継続的な観察が必要である。

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会を3月18日に開催し、平成23年度の駆除実施計画、駆除班の編成などを決めこの計画によって実施した。

有害鳥獣駆除従事者は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者61名を登録し依頼した。

(7) 忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業については、平成17年度から開始された。

平成23年度末までに本登録19頭、仮登録11頭の合計30頭が登録されている。

(平成23年度は新規11頭)

(8) 治山事業

(ア) 地域防災対策総合治山事業

読書和合(谷止工《嵩上》381 山腹工0.12ha、ロープ伏工・吹付工780㎡)

(イ) 奥地保安林保全緊急対策事業

読書本谷(山腹工0.12ha、土留工16 、簡易法枠工500㎡)

(ウ) 保安林改良事業

読書与川三区(山腹工13.96ha、植生マット工320㎡)

読書上の原(枝落とし3.27ha、本数調整伐16.9ha、伐木筋工1,690箇所)

(9) 災害復旧事業(林道施設)

(ア) 補助災害分 なし

(イ) 町単災害分 なし

平成23年度林務関係主要事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988				988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	100.35	2,850				2,850	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		450			300	150	その他：寄付金
合同植樹祭	森林管理署・町		187				187	
合計			4,475	0	0	300	4,175	

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
町有林造成事業	町	下刈 2.2ha 鳥獣害防止 2.8ha 境界杭設置 1箇所	625	202		200	223	その他：寄付金
合計			625	202	0	200	223	

(3) 林道開設・改良・維持事業

ア 林道改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
林道改良事業	田の沢線	L=143.0m	15,341	3,728	124	10,900	589	平成22年度繰越分

イ 林道維持補修

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
林道維持修繕			1,259	0	0	0	1,259	

(4) カモシカ対策事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	8頭	478				478	

イ 捕獲実績

単位：頭数

年度	頭数	年度	頭数	年度	頭数	年度	頭数	年度	頭数	年度	頭数	備考	
												元	2
54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	68	68
6	16	30	45	58	70	55	55	60	68	68	65	68	65
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	13	14
65	65	65	65	65	65	65	65	60	58	55	35	55	35
15	16	17	18	19	20	21	22	23			計		
35	28	27	22	23	13	20	8	8			1,508		

(5) 森林病虫害等防除対策事業

1) 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m <sup>3</sup> )	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
北上防止事業(山林協会事業)	町内 一円	16.18	200		200		0		
森林づくり推進支援金事業		31.14	993	950			43	県民税事業	
松林健全化推進事業		37.62	1,083	622		200	261	その他：山林協会	
計		84.94	2,276	622	950	0	400	304	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m<sup>3</sup>

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
処理量	66.19	91.74	135.00	135.00	155.00	5.25	10.59	8.93	5.00	2.00	104.11	65.62
年度	22	23										合計
処理量	57.21	84.94										926.58

2) カシノナガキクイムシ対策

事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m <sup>3</sup> )	事業費	左の財源内訳				備考				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源			
カシノナガキクイムシ対策事業	沼田	—	150						150			消耗品(薬剤等)

(6) 有害鳥獣駆除事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	3,621	318			3,303	駆除報償金等
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	773				773	訓練委託料等
計			4,394	318	0	0	4,076	
鳥獣害防止総合対策交付金事業	町内一円	一式	2,041	1,871			170	協議会事業(緩衝帯整備・忠犬事業等)

イ 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ
有害期間許可頭数等	80	120	0	10	10	5	50	50	10	20	5
有害対象期間捕獲頭数	13	73	0	0	10	0	23	20	0	17	0
狩猟期間捕獲頭数	9	27	0	0	0	0	0	4	0	13	0
駆除合計	22	100	0	0	10	0	23	24	0	30	0
(前年度駆除頭数)	96	462	15	0	5	0	23	61	0	17	1

ウ 熊の出没回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成23年	1回	0回	1回	2回	3回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	8回
平成22年	0回	2回	5回	9回	22回	53回	7回	0回	0回	0回	0回	0回	98回

忠犬登録実績

単位：頭数

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
読 書	1	3	4	5	7	9	18
与川一区					1	1	2
与川三区							2
与川五区							1
十二兼							1
本谷		2	2	2	2	2	2
岩倉			1	1	1		1
戸場	1	1	1	2	2	2	2
川向							2
上の原					1	3	4
東町						1	1
吾 妻	3	4	4	4	4	4	5
中町							1
大妻籠	2	2	2	2	2	3	3
下り谷	1	1	1	1	1	1	1
尾越		1	1	1	1		
田 立	2	4	5	6	6	6	7
元組		1	1	1	1	1	1
向粟畑	1	1	1	1	1	1	2
粟畑				1	1	1	1
下切		1	1	1	1	1	1
大野正兼			1	1	1	1	1
塚野	1	1	1	1	1	1	1
合 計	6	11	13	15	17	19	30



(7) 治山事業費  
了 事業分

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量	業者名	備考
地域防災対策総合治山事業	読書和合	谷止工 (高上)	381m <sup>3</sup>	大宗土建 (株)
		山腹工	0.12ha	(株) 名工土木
		ロープ伏工・吹付工	780m <sup>2</sup>	
奥地保安林保全緊急対策事業	読書本谷	山腹工	0.12ha	(有) 源次商店
		土留工	16m <sup>2</sup>	
		簡易法砕工	500m <sup>2</sup>	
保安林改良事業	読書与川三区	山腹工	13.96ha	(有) 若林組
		植生マット工	320m <sup>2</sup>	
	読書上の原	枝落とし	3.27ha	(有) 源次商店
		本数調整伐	16.90ha	ひのき精香 (株)
		伐木筋工	1,690箇所	